

「感性豊かな子」の育成を目指して

本校の子どもたちがよく学習で使う場所に、「比良の丘」があります。ここは、県の「さいたま緑の森博物館」に隣接しているので、年間を通じてたくさんの人たちが訪れます。特に4～5月のこの場所は清々しく、丘陵の新緑とともに春を満喫させてくれるので人気の高いスポットになっています。

この丘の上には、4月下旬になると小花を密集させて白いブラシ状の花を咲かせる「ウワミズザクラ」の木が1本立っています。ところが残念なことに、この清楚な花に気づく人はほとんどいないようです。

本校の学区内には、四季の移り変わりを満喫出来る豊かな自然が残されています。しかし、そのすばらしさを感じ取る心＝「感性」を持っていなければ、このウワミズザクラのように、それを見ることも感じることも出来ないということになります。また同様に、この地域に住む方々の温かい心に対しても、それを感じることが出来ない子どもたちでは、心豊かな人間としての成長を望むことはできないでしょう。

本校では本年度、4月号のメタセコイヤでお知らせしたとおり、「み・か・じ・ま」の4つの学校教育目標の下に、それぞれ「目指す児童像」を示しました。教育目標①「みんなやさしく」では、「心優しく温かみのある子」「美しさを感じ取る感性豊かな子」を掲げ、様々な体験活動を通してその実現を図ろうとしています。どうぞこのこのような趣旨を御理解の上、本校の教育活動に一層の御支援をくださいますようお願いいたします。



比良の丘に立つウワミズザクラの木とその花(円内) 4/30撮影

富田前校長の掲額式が行われました



去る4月27日、旧職員の離任式に先立ち、PTA主催で富田常世校長の掲額式が行われました。

中野PTA会長と富田校長が額にかかっていた白布の紅白テープを引くと、参会のPTA本部役員に、6年間務めた第28代校長の額が披露され、大きな拍手がわきました。